

■平成 29 年度敦賀市中池見湿地保全活用協議会 第二回会議

[議事録]

日 時：平成 29 年 10 月 11 日（水）14：00～16：00

場 所：プラザ萬象

出席者：会員：9 名、顧問：1 名

1 あいさつ

- 平成 29 年度敦賀市中池見湿地保全活用協議会第 2 回会議の開催にあたり、田原会長より以下のあいさつがあった。
 - ・ 本日は、お忙しい中、お集まりいただき、お礼申し上げます。
 - ・ 今年、中池見湿地はラムサール条約登録 5 年目の年となる。これからの課題としては、資金のこともあり、みなさまからよいアイデアを出していただきたい。
 - ・ 本日も、皆さまからの活発なご意見をお願いしたい。

2 議事

【議事 1】 前回議事録の確認

- 前回会議について議事録を確認し、特に、質疑応答はなかった。

【議事 2】 実施計画進捗状況

- 事務局より、今年度の実施計画の進捗状況について資料説明があった。

[質疑・応答]

- ・ （会員）中池見フォローアップ委員会の内容等把握はどのようになっているのか。
→（事務局）事後調査検討委員会でモニタリング計画を立てており、調査結果については、委員である（顧問）およびオブザーバーとしての福井県、敦賀市が情報を得ることができている。委員会の議事録は、鉄道・運輸機構のホームページにて公開されており閲覧できる。
- ・ （会員）渡り鳥の拠点として大事な場所で伐採があったというのは、具体的にどのような状況なのか。
→（事務局）今回の伐採は、想定された範囲外のことであって、市として十分把握しておらず、申し訳ない。
→（中池見ねっと）これまで同様のことが繰り返されているところがある。伐採作業する方は、以前から当たり前のこととして作業をされており、伐採が及ぼす影響について意識されていない。鳥類の調査はボランティアでされているため調査データが資料として出されることもなく、里山の整備作業との兼ね合い等について団体間で情報交換しにくい。
→（会員）作業時のルールをつくれぬのか。

- （中池見ねっと）ルールはつくっているが、団体内で共有できない。
- （敦賀市）中池見湿地の保全・管理作業は中池見ねっとにお願いしているが、来場者からの要望で伐採も必要な状況がある。
- （会員）安全管理が最優先だが、行き過ぎもよくない。
- （会員）伐るか伐らないか、両極端になっていると思う。どこで間をとるのか、行政で調整してほしい。
- （会員）これまでに、中池見に 100 回くらい通っているが、危険木があると感じたことはない。
- （中池見ねっと）資料 2 の保全目標 1、2 について、「変化なし」は実は厳しい状況にある。トンネル残土、仮設道により、泥炭層は壊れつつあると思う。かなり差し迫った状況である。笹鼻江の池の拡大は心配だ。
- （事務局）（顧問）からも残土をどうしたらよいか調べるよう依頼がある。
- （会員）ぐるっと周遊バス来場が減っているとのことだが、来園者は中池見にどのような手段で来ているのか。
- （中池見ねっと）大抵、団体バスや自家用車で来園されている。ぐるっと周遊バスを使っている人はあまりいない。
- （会員）現状を把握すべきではないか。
- （事務局）レンタサイクルの拠点について、市の中での検討が始まっており、中池見もポイントの一つとすることを検討していきたいと考えている。
- （会員）金ヶ崎の検討委員会でもレンタサイクルの意見はでており、運用面での工夫があるとよいのではないか。

【議事 3】平成 29 年度活動経過

- 今年度の活動経過について、会員から口頭にて説明があった。
- （会員）中池見をあしらった鞆を作ってみた。また、中池見のヨシを使って、ローソクを作ってみた。いろんな町で皮製品の展示会をしている。評判はとてもよいが、革製品は高価で買ってもらえない。
敦賀駅に中池見のパンフレットがないことが残念である。
- （会員）中池見での催しなど折々の様子を地元ニュースとして配信させていただいている。“中池見通信”を CATV で発信した。自分としては、村上先生の調査をかみ砕いて紹介させていただいた。例えば、外来種のカメのことなど、本筋をどう伝えるのかを今後考えたい。また、県内のケーブルテレビ間で情報共有しており、市外への情報発信にも今後取り組んでいきたい。
- （会員）現在、アプリについて、技術的な調整をしている。
- （会員）環境フェアがあり、そこで情報発信したい。金ヶ崎のシンポジウムがあり、関連して中池見も取り込みたい。

- (中池見ねっと) ピザを焼ける石釜を作った。これを有効利用したい。石釜をレンタルできないか、市とも相談したい。これを通じて中池見が楽しい場所であることを発信したい。中池見のドジョウについて、遺伝的に固有であることが分かった。これを守るための条例がほしい。

[質疑・応答]

- (事務局) 中池見全体が市有地でないため、条例化は難しい。
- (会長) 希少な種として位置付けると守れる半面、情報公開もする必要がありマニアのことが懸念され一長一短のところもある。
- (会員) 環境フェアの折にトレイルウォークを予定している。5月にトレイルランをした際には、県外からも参加をいただき好評だった。中池見のPRは大切だと思う。しかし、中池見へのアクセスが分かりにくい。
- (敦賀市) 第49回種生物学会のミニシンポジウムにて、希少雑種の宝庫、中池見湿地の将来に向けてと題した発表を株式会社BO-GAの関岡さんからしていただく。また、別件として、明日からの二日間は、ラムサール条約登録湿地の関係者会議に出席し、保全活用について意見交換することを予定している。

[質疑・応答]

- (会長) 来園者の声はどのように集めているのか。アンケートなどしているのか。
- (中池見ねっと) アンケートから声を拾っている。
- (会長) 協議会として統一のフォームでのアンケートをとってはどうか。来年度からでよいので、検討いただきたい。

【議事4】活動資金の獲得

- 事務局より活動資金の獲得について説明があり、特に、質疑応答はなかった。

■意見交換会

- 中池見への市民のニーズをもっと知りたい。
- 健康志向、健康増進のための利用といった視点から、保健センターから健康増進の場として使ってもらえるとよいと思う。
- 敦賀高校の同窓生でも中池見未経験者が多いことがわかった。もっとPRするとよい。
- 健康という視点は良いと思う。
 - 健康振興課、スポーツ振興課との連携を検討する。
- 展示物を充実させるべきだ。
- 中池見に関するニーズ発掘のため、環境フェアで中池見アンケートを実施する。

(以上)